

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2014年初夏の便り号 (通算第21号)
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108
ホームページは **亀井たくま** で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.com



高原千葉村は廃止ではなく存続を! 市民の安心・安全を守る市立病院・健康施策を!

市民の皆様、お変わりありませんでしょうか。3月定例議会が終了しました。今回議会では、平成26年度予算の審議も行われ、これまで市民の皆様から戴いた声の反映に努めてまいりました。

また、3月13日に連続12回目(毎回必ず登壇!)の一般質問に登壇し、1時間にわたり、3つのテーマで27問質問しました。今回も質問内容を抜粋してお知らせいたします。

平成26年度は、任期最後の1年となりますが、初心を忘れずに「地域・市民のために」働いてまいりますので、よろしく願い申し上げます!

1 高原千葉村の存続問題について(市民局)

Q 高原千葉村は、長年市民に親しまれてきたが、運営を終了し、みなかみ町に無償譲渡するという見直しの方向が示されている。今後も市が一定の責任をもって事業経営を。PFIや指定管理者などの導入は。

A (市民局長) PFIの導入は検討していない。指定管理者制度導入については平成22年度に検討をしたが、管理運営経費については費用縮減が見込めるものの、施設の修繕費用の課題があり、導入に至っていない。

Q 他自治体では、自治体区域外に所有している土地を活用し、特別養護老人ホームの建設を目指すなどの動きもあるが、そのような他の活用方法の検討はしたのか。

A (市民局長) 市民の保養施設および青少年の体験学習の場という、現状の施設機能を維持することを優先する。現在、他の用途活用は検討していない。

Q みなかみ町が取得できない等、新たな担い手が見つからない場合にはどうするのか。

A (市民局長) 民間企業等への売却も視野に入れることを調査・検討している。

Q 教育委員会は、市内中学2年生の自然教室の今後についてどう考えるのか。

A (教育次長) 自然教室は青少年の健全育成のために、今後も継続が必要と考えている。高原千葉村での実施が望ましいが、所管する部局の動向を注視し、対応を検討していく。

Q 千葉村建設時には、当時の市職員や新治村の行政・地元の方々の多大な尽力・協力があり、今日まで至っている。その重みを考えるべきだ。見直しについて、みなかみ町とはどのような協議をしているのか。現状は。

A (市民局長) 現在、みなかみ町では、町議会に「高原千葉村調査検討特別委員会」を設置し、対応を協議している。今後、方針が示されると考えている。また、町長および町議会から運営継続を求める要望書が千葉市長に提出されている。

Q 引き続き、千葉市が何らかの形で運営していくか、みなかみ町が千葉村を引き継いで活用していけるようにすべきだ。中学生の自然教室の継続、市民の利用促進にも力を入れるべきと考える。みなかみ町が事業継続できるよう

高原千葉村の運営が「16年度未終了」市議会
地元自治体に意向 2月市議会
2月定例市議会は13日も一般質問が行われ、市は群馬県みなかみ町に対し、市営宿泊交流施設「高原千葉村」(同町)の運営を2017年3月までに終了し、跡施設を譲渡したいと申し入れたと答弁した。
市市民総務課によると、千葉村は市民の保養所や中学生の自然教室で使用している。年間約2億円の運営経費が必要で、開設から40年が経過し老朽化しており、今後15年間に10億円の修繕費が必要になることから、事業を見直している。
施設機能を維持する方向で見直しを進めているが、新たな担い手が見つからない場合、民間企業への売却も視野に入れる。同町が事業引き継いだ場合、千葉村での自然教室や市民の利用も継続される。
昨年8月に行った申し入れを受け、同町は町議会に特別委員会を設置。町長と町議会議長が関係後継市長宛てに、運営継続を要望した。

【質問が千葉日報に掲載されました】

な方向も含めて、今後も市の協力や支援をすべきと思うが、市の見解は。

A (市民局長) みなかみ町が事業を引き継ぐようであれば、自然教室の継続、市民の利用あっせんなど、できる限り協力をしていく。

亀井はこう考える！ — 千葉市・みなかみ町双方に最善の形で解決を！

高原千葉村は、昭和48年、群馬県利根郡新治村(現・みなかみ町)に建設され、長らく市民に親しまれてきましたが、現在、そのあり方をめぐって見直しの方向(平成29年3月までに運営を終了し、みなかみ町に無償譲渡)が示されています。見直しを知った市民からは、「廃止は残念」「市民が知らない間に進められている」との声が寄せられており、きちんと市民に情報公開をしていくことを求めました。今後、市の各種施設の見直しも想定されますが、「市民と理解をはかっていくプロセス(過程)」が非常に重要と考えます。

また、市内中学生の自然教室は、仮に千葉村がなくなる場合には、国立施設などの他の施設に分散して、自然教室を行うという方向のようですが、すべての学校を分散させて、自然教室を行うことができるのか不透明です。学校現場の負担増も懸念されます。

現地・みなかみ町では、千葉村の存廃は経済・雇用の面からも死活問題で、この間、町長も昨年12月と1月に本市を訪れ、事業継続を訴えています。また、今回の私の質問にも町長、町議会議員、職員が多数傍聴に来られるなど、現地の関心は高まっています。そういう思いも受け止めていくべきだと思います。

単に「財政が厳しいから廃止」でなく、「事業を引き継いでもらえるように協力」することが大事であり、今後も千葉村がなんらかの形で継続し、本市の中学生の自然教室が続いていくように、また市民が引き続き利用できるように、より一層、みなかみ町との丁寧な協議・連携を行っていくことを求めました。



【現地・みなかみ町の岸町長、町議会議員、職員の方々が、私の質問に駆けつけてくださいました。】

2 両市立病院について (病院局)

Q 「働きがい」「やりがい」のある職場にするには、職員のモチベーションを上げていく仕組みが重要。病院職員の研究研修費は十分に機能しているか。頑張った職員にはさらに研究研修費が支給されるといったようなインセンティブの導入が必要と考えるが、市の見解は。

A (経営管理部長) 人材育成、モチベーション向上のため、医業収益の概ね1% (平成26年度は1億4000万円)まで拡充している。活用状況や収益状況を踏まえ、提案のインセンティブ導入について検討していく。

Q 深刻な看護師不足の解消のために、今後は外国人看護師の活用・育成も考えるべきではないか。

A (経営管理部長) 会話力の課題があるが、日本の看護師試験に合格すれば雇用は可能である。昨年5月から海浜病院で中国人研修生1名を看護補助者として雇用しており、現在、業務に従事しながら試験合格を目指している。

Q 両市立病院での対応が良くなかった等の意見が寄せられている。接遇力向上に取り組むべきでないか。計画等で明確に位置付けるべきでないか。

A (経営管理部長) 今年度、すべての職種を対象に接遇を含めた研修を9回実施しているが、医師を含めた職員の対応について意見が寄せられることもあることから、引き続き、職員の接遇力向上を含めた人材育成に取り組む。時期病院改革プランの取組事項としても検討していく。

Q 市民の健康づくりのためにも、両市立病院が主体となった「市民公開講座」などの取り組みが必要と考えるが、見解は。また、「市民参加の病院づくり」に今後どう取り組んでいくか。



A (経営管理部長) 24年度は市民向けのシンポジウムを2回開催し、25年度は公募市民20人が参加して、「千葉市の医療を考えるワークショップ」を計10回行うなど、市民参加の取り組みを進めている。26年度は、海浜病院において、高齢者の外来受診時に一緒に付き添い手助けする「受診介助ボランティア」の育成を市民やボランティアと協働して行っていく。

亀井はこう考える！ — さらに市民に身近な青葉・海浜病院へ！

青葉・海浜の両市立病院の充実に向け、「意識改革」「働きがい」「外国人人材の活用」「接遇力向上」「市民参加」の5つのテーマで質問&提案しました。より良い人材確保のため、研究研修費制度の充実について、さらなる改革を求めるとともに、看護師不足への対応として、働きやすい職場環境・体制への改善、外国人看護師(医療通訳も含め)の活用・育成について提案を行いました。

また、両市立病院が市民に身近な病院となるように、接遇力向上、市民参加という観点からそれぞれ充実を求めました。市民が日頃から自分の健康のことを考えて意識的に行動していくためには、やはり医療サイドからの市民への啓発も大切と考えています。現在、両市立病院では、市民との協働の取り組みを進めています。今後の地域医療・自治体病院のあり方を含め、市民との相互理解をはかっていくことが求められると考えます。

3 市民の健康づくりについて (保健福祉局)

Q 健康づくりに結びつきにくい「働く現役世代」への支援は。

A (保健福祉局長) 産業保健・健康保険の関係機関、商工会議所等の団体と連携して、事業所での健康づくりを支援している。職場で運動やたばこ対策等に取り組む事業所を「健康づくり推進事業所」として認証する取り組み等を行っている。今後はスマートフォンを活用した個人向けの健康づくりの取り組みを進めていく。

Q ラジオ体操の活用が全国的に進んでいる。市内では若葉区を中心に取組まれているが、市民の健康のために、全市的なラジオ体操の活用・取り組みを考えてはどうか。

A (保健福祉局長) ラジオ体操は、地域で実施することで、会話や見守りなど地域の絆づくりにも役立つと考えている。地域でラジオ体操に取り組む団体にポイント付与の制度を設けており、今後も活用してまいりたい。

Q ウォーキングも健康づくりに効果があるが、ウォーキングの推進に向け、環境整備等を含め、今後どのように取り組むか。

A (保健福祉局長) 各区で作成している「健康づくり支援マップ」の中で、ウォーキングコースを紹介するほか、ウォーキングの歩数に応じてポイントを付与する個人向けの健康づくり事業を行っている。今後もウォーキングの普及啓発を図っていく。



【祐光地区でのラジオ体操の取り組み】

亀井はこう考える！ — 地域の健康づくりで地域の輪づくりを！

国民医療費が増大する中で、健康寿命の延伸が大きな課題となっています。誰もが「健康づくり」を意識し、楽しみながら参加できる仕組みが必要です。「働く世代」の健康支援策として、現在行われているスマートフォンを活用した健康づくりポイント制度については、利用しやすいものになるよう、改善を求めました。また、健康づくり活動に参加した人は、店舗等で割引や特典が受けられるような仕組みの導入について提案を行いました。

市では、地域住民の健康づくり活動への支援を行っていますが、中でもラジオ体操が盛り上がりを見せています。またウォーキングも手軽な健康づくりで人気があります。ラジオ体操・ウォーキングを活かしたまちづくりの提案、環境整備や地域団体への支援の拡充・充実を求めました。高齢化による「地域の見守りづくり」が課題ですが、地域における健康づくりの取り組みを通じて、地域の高齢者等の支え合い・助け合いの基盤・土台づくりにつながっていけばと願っています。同時に、いきいきプラザ、いきいきセンター等で行われている健康増進や文化・レク等のイベント・活動を、今後はもっと身近な地域でも行うべきとの提案も行いました。

現在、自治体や企業では「健康運営」として、健康診断結果等のデータを活用し、個人の健康を管理していく取り組みが始まっています。本市においては、今年度、国民健康保険で人工透析のリスクのある市民への早期支援策が位置づけられました。今後、個人の健康管理・支援の制度導入を進めていきたいと思っています。

予算審査特別委員会でも 質問・提案しました！

(3月5日、保健福祉局)

- 認知症対策の充実について(認知症の早期支援へ！)
- 生活保護・困窮世帯の子どもへの学習支援について
(困窮世帯の中学生へも拡充！)

(3月6日、消防局)

- 救急体制の充実について(救急搬送の態勢強化！)
- 救急車の不適正使用への対応について

(3月6日、病院局)

- がん治療の充実について
(海浜病院に高度がん治療設備導入！)
- 看護師不足対策について(修学資金貸与制度創設！)

26年度の主な新規・拡充事業！

- 障がい者スポーツの推進(2144万円・市民局)
- 認知症初期集中支援体制強化(500万円・保健福祉局)
- 子ども医療費助成を中3まで拡充
(27億円・子ども未来局)
- ごみ減量化の推進(2692万円・環境局)
- 蘇我駅前再整備のための測量等(1050万円・都市局)
- 千葉市道路サポート制度創設(100万円・建設局)
- いじめ対策・調査委員会の設置(395万円・教育委員会)



高原千葉村をぜひご利用下さい！

～千葉市唯一の温泉もあります！～

お問い合わせ・お申し込みは

☎ 0278-66-0563

料金等、詳しくはホームページをご覧ください。

議員定数改革！まず確実に「4減」を！

現在議員定数を54人→50人とする「4減」案が議論されています。中央・花見川・稲毛・若葉の各区で1減となります。私も厳しくなりますが、「身を切る改革」を必ず成立させます！

市政へのご意見は。

TEL/FAX 043-255-8108 携帯電話 090-3694-4173

(事務員もおらず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。
携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします！)

メール dqg06110@nifty.com お手紙も大歓迎です！



フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています！

亀井たくま で検索を！

亀井たくまのプロフィール

1980年生まれ。椿森出身・在住。34歳。作草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営研究科修了。行政書士。社会福祉士。椿森5丁目西町会会長。千葉市スポーツ推進委員。院内小スポーツ振興会委員、椿森中青少年育成委員会委員。青少年相談員。ホームヘルパー2級。防災士。保健消防委員会委員。少子高齢特別委員会委員。

2007年の市議選は21票差で落選。2011年、5622票を頂戴し当選。日々修行中です！

趣味は明治～昭和の懐メロです。(介護施設、老人会、自治会等で懐メロの演奏・茶話会のボランティアできます！詳しくはお電話ください！)好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎です。

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします！

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎！)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会

最後までお読みくださいますと、ありがとうございました！